

連載執筆のねらいと執筆者の紹介

フランスで育つ日本人の子供たちへの日本語教育

2006年から6年間、指導と運営に携わったパリの天理日仏文化協会での取り組みを連載していくことによって、外国で育つ日本人（国際結婚家庭の子弟も含む）の子供たちと、その保護者たちにとっての日本語教育の意味とともに、教師集団が、天理教の運営する学校ならではの教育理念に沿った指導を目指し、努力を重ねている姿も紹介したい。さらに、子供クラスに入学する前の子供たちを対象に、若い布教師の夫人たちとともに、女性の立場だからこそできるおかげの場として始めた子育て支援サークル活動の歩みにも触れたい。

田中久代（たなか ひさよ）

昭和53年天理大学文学部国文学国語学科卒業後、天理教海外部に勤務。海外部派遣留学生の夫とともにフランスに行き、ソルボンヌ大学文明講座にて上級課程修了。その後、コンゴブラザビル出張所に2年半勤務する。

帰国後、小学校教員免許単位を履修し、嘱託講師として天理小学校に勤務。平成18年から天理日仏文化協会こども日本語講座で小学生に日本語を指導に当たる。平成21年からは天理教ヨーロッパ出張所に移り、平成23年4月ヨーロッパ婦人会が結成され、初代主任に任命される。平成24年2月に帰国後、同年9月より奈良県立榛生昇陽高校にて、国語科非常勤講師として勤務。

平成24年度特別講座

「教学と現代9」のご案内

おやさと研究所では、今後3年間のシリーズで「海外伝道の現状と課題」を特別講座「教学と現代」として開催することになりました。シリーズ第1回にあたる「教学と現代9」では、アメリカ、ハワイ、ブラジルの各伝道庁長をお招きして講演いただく予定です。

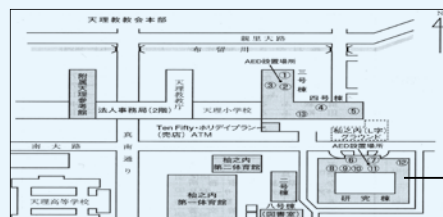
これらの国や地域に共通するのは、天理教の教えが初期には主として日系移民を対象に広まり、世代を重ねるにしたがって現地の人々にも布教伝道が行われるようになってきたということです。

幾多の時代を経て、今日、これらの国や地域における宗教状況、布教伝道の現況、世代を重ねての信仰、さらなる現地化を目指しての課題などについて、伝道庁長のお話を聴き、海外伝道における本教の課題について共に考えてみたいと思います。

日時：平成25年1月29日（火）

午後1時～5時

場所：天理大学研究棟3階第2会議室



お車で越しの方は研究棟東側駐車場をご利用下さい。

大学研究棟

ご関心のある方は担当の者までご連絡ください。

「教学と現代9」担当：金子 昭

連絡先 e-mail : akira-k@sta.tenri-u.ac.jp

平成25年度公開教学講座開催のお知らせ

おやさと研究所は、1995年6月25日、開所50周年を記念して「公開教学講座」を開催しました。以来、この「講座」を毎年実施し、今日に至っています。講師による講演後は、会場からの質問に答える双方向の議論を基本に置いています。

研究所員が中心となって講師を担当し、天理教の教えをわかりやすく解説をし、天理教が現代社会とどのように関わっていったらよいのかなどを考えながら、参加者と共に教えへの理解を深め実践に結びつこう心掛けています。

平成25年度は4月から、年度からの続きで「信仰に生きる」：『逸話篇』に学ぶ（2）として、『稿本天理教祖伝逸話篇』における教祖の逸話を手がかりに、お道の信仰の世界の一端を明らかにしたいと思います。

なお、開催日程など詳細に関しては、本誌次号でお知らせいたします。



グローバル天理
第14巻 第1号（通巻157号）

2013（平成25）年1月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 深谷忠一
編集発行 天理大学 おやさと研究所
〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/j-home.htm>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan